

議員定数・報酬の検討研修会

平成30年1月19日(金)13:40

村上市役所 第1委員会室

1 講師

新潟県立大学 国際地域学部 田口 一博 准教授

2 講演内容抜粋

- ① 若い人が議員に本当に出てこられるのか心配。
- ② これから村上市議会にこういう人がほしい。子育て世代がほしい。若い女性がほしい。20歳代がもっとほしい。そうであれば、では、いくらなら選挙に立ってくれるか。議員をやってくれるか。
- ③ 議会は、本来、自ら議案を作るとか考えるとだから、人数が沢山いないといけない。
- ④ 特に市街地以外の人口減少が大きいところでは、議員が町の仕事を積極的に担うことで減った人口、町の機能が落ちてしまっているところを補うということも考えなければいけない。もともとあった村や町の機能を維持するためには議員が代わりになって動かなければいけないこともあるはず。
- ⑤ なり手の問題とは、どういう仕事を議員がやらなければいけないんだということ。
- ⑥ 合併で職員も減らしてきた。おそらく大都市だと職員がやっている仕事を議員がやっているのだと思う。地域の見回り、消防、安全・安心とか。
- ⑦ 現状の議員の皆さんの構成、それは住民代表として妥当なのか。地域ごとに住民が納得するような数の議員、いろいろな出身や立場の議員が出てきているのか。
- ⑧ 議会というものに自分たちの代表がいなかったら、それは政治的妥当性はない。
- ⑨ 議員の中にどういう人がいるべきか。
- ⑩ 少人数で専門的な議員で議会を構成したほうがいいのか。
- ⑪ 多数の議員で構成される、でも専門ではない、議員専門ではないという議会にしたほうがいいのか。
- ⑫ 住民代表性と政治的妥当性が担保されればいいのかもかもしれない。
- ⑬ 人口を呼び込む、町に仕事を作る、町でいろいろな人が活躍できる場をもっと増やすということで考えると、増やす方向で考えたほうが人口が増えるという方向に行くのでは。
- ⑭ 外から見たら村上市は格式を感じられるまちなんです。議員にどういう人がなってほしいかということを考えていくと、村上市をどういうまちにしていきたいか、どんな人に住んでもらいたいのかということに直結するはず。

- ⑮ 議会からどんどん発信する。議会からできることもある。議員は村上のいいセールスになってください。
- ⑯ 例えば、ダイヤの改正を働きかけたり、中学と高校との連携をよくするとか、みなさんができることは結構ある。そういう活動を一生懸命やっていく政務活動のところで住民の前で姿を見せていく。特に若い人の前に議員の活動を見せていかないと皆さんの後ろに続く人もなかなか現れない。
- ⑰ 若い人が、議会が動いてくれたことで通学が楽になったとか、地元の高校に通いやすくなったとか言った時に、親御さんたちは議会の人数は減らしたほうがいいとか、議員報酬は高いなんて話は言わないと思う。その成果を最初に出さないで。
- ⑱ 報酬や定数の問題は議会の中だけで議論するのではなく住民の前でやってみるとか。中学生や高校生にいくらだったら村上にのこってやってくれるんだとかいう話を聞いてみる。オール村上で、議会を村上の政治を支えていくためにはどうしたらいいのかという話を考えはじめていかないといけない。
- ⑲ 最後に、これから定数と報酬をどのように考えていくべきか。一つは常任委員会をいくつにしたいのか。議会の機能として何常任委員会を置く必要があるのか。このぐらいの委員会の構成メンバーでやらないと議論が十分にできないとか、住民代表、地域代表が入らないとかという機能の面を検討に加えていただきたい。
- ⑳ 市では4常任委員会。委員8人は最低ラインとしてほしいです。委員長除いて7人くらいにしておかないといろんな住民代表が入ってこない。8人×4委員会に議長と監査委員をプラスするくらいは市議会として普通な人数と考える。
- ㉑ 議員定数というのは、浮動票がいいとは言わないが、浮動票でもまぐれ当たりでも当選できる人が毎回一人ふたりは入ってこれるようにしておかないと世代交代は難しくなる。そうやって入ってきた人を、しっかりした人だったら育て上げるというのもみなさんの仕事のひとつのはず。
- ㉒ そんなふうにと考えると議員の定数というのは、もう一つ、議員のなり手とか次の世代の村上の政治家、地域の担い手を増やしていくという点でも必要なのかも。
- ㉓ ターニングポイントは18人くらいみたい。
- ㉔ まず住民に対して議会の活動をもっとわかってもらうということ。議事堂の中だけでなく、住民や外に向かってやっていくということ。政務活動や議会や委員会の特別な活動については、もっともっと議会だよりでスポットを当ててもらいたい。そういうことから、若い人たちの中に議員になりたいという流れを作ってみてもらいたい。